

「みどり・市民ネット」は「●市民参加と情報公開による市民本位の市政の実現●市民にわかりやすく開かれた議会をめざす●地方分権時代にふさわしい意思決定・チェック機関として議会を活性化●それぞれの政治的立場や見解の違いを尊重し協力・協働」を基本姿勢とする超党派の6人会派です。所属議員は独自に活発に活動しています。



小金井市議会議員

2012年6月4日

片山かおるの

ちょっとカエル通信



34号

おとなも子どももいっしょに育つ町にしよう

6月議会が始まります

原発事故後の給食の安全と充実とは? 女性と非正規労働問題を考えよう



給食の放射能測定が計上された! (補正予算)

当初予算に無いことで批判されていた、給食の放射能測定費用が補正予算に計上されました。消費者庁から貸与された測定器は、本来は老朽化した市民測定器のために貸与されたものでしたが、学校と保育園給食で使用することに。緊急雇用で測定員を雇用する費用とスクリーニング検査に出す費用が計上されています。市民協働で放射能測定事業を続けてきた測定室や、担当の経済課には相談もなくトップダウンで決めるという、市民の信頼を著しく損なうやり方は、大きな問題ではないかと考えます。これまで22年間、行政と市民の協働事業で測定を続けてきた放射能測定室の知見を活かしながら、給食の放射能測定に取り組み、市民測定用の測定器も早急に検討すべきであると思います。

◇7/9より外国人登録制度が廃止となり、新しい在留管理制度に移行されることに伴い、市の条例がいくつか改訂されます。特別永住者や在留外国人にとって不具合がない制度になるか、当事者の声を聞きながら判断していきたいと思えます。

片山かおるの一般質問6/11 (月) 11時~

1. 原発事故後の子どもたちの食の安全と充実を給食から実現させよう!

- 1) 学校・保育園給食の食材選定基準について。産直、地産地消、無農薬、非遺伝子組み換え、放射能ゼロベクレルへの小金井の取組み状況は?
- 2) 武蔵野市の給食調理や放射能事前測定に対する取組み、産直の食材納入を参考にしないか。
- 3) 栄養士と調理員の食育と食の安全に対する取組み状況は?ベテラン栄養士と調理員の知見はどのように活かされ、受け継がれているのか。他地域の取組みをどのように把握し、参考にしているのか。北海道置戸町の取組みを参考にできないか。

2. 女性と非正規労働問題

第4次行動計画と女性のエンパワメントについて

- 1) 第4次行動計画の進捗状況は?第3次行動計画からの発展はどのようなものになるのか?
- 2) 「知っておきたいデートDV」「男女共同参画の視点からの表現の手引」の活用について
- 3) 3月に発表された政府の「望ましい働き方ビジョン」への見解を問う。
- 4) 小金井市内の女性非正規労働者の労働条件、労働環境はどのような状態か把握しているか。
- 5) 第4次行動計画に、女性の労働問題への対応や女性のエンパワメントを盛り込むべきではないか。



◇ 議会日程 ◇

- 5/31 (木) 本会議
- 6/1 (金) 本会議 (休会)
- 6/4 (月) 5 (火) 7 (木) 11 (月)
一般質問 (漢人6/7、片山6/11)
- 6/6 (水) 議会運営委員会
- 6/13 (水) 厚生文教委員会
- 6/14 (木) 建設環境委員会
- 6/15 (金) 総務企画委員会
- 6/18 (月) 予算特別委員会
- 6/19 (火) ごみ処理施設建設等調査特別委員会
- 6/20 (水) 庁舎建設等調査特別委員会 (13:00開会)
- 6/21 (木) 予備日
- 6/22 (金) 整理日
- 6/25 (月) 本会議
- ※ 原則10:00より

問合せ：議会事務局042-387-9947

☆お知らせ☆

議会基本条例を市民参加で作っていくために、シンポジウムが行われます。

保育もあるのでぜひご参加ください!

★議会基本条例シンポジウム

『どう変える? どう変わる? 私たちの議会』

日時: 7/1 (日) 午後1:30~3:30 (保育・手話通訳あり)

◆基調講演: 江藤俊昭さん (山梨学院大学教授)

◆パネルディスカッション: 議会の仕事や役割を解きほぐし、市民に身近な議会のあり方を先進市に学び考えます。

場所: 萌え木ホール 参加; 無料

問合せ・保育申込: 議会事務局042-387-9947



5/13に議会報告会、5/29に議員定数削減に関する公聴会が開かれました

議会基本条例をつくる上で試行的な開催となった議会報告会。100人を超える参加者で会場は満杯、アンケートの回収は70%以上で市民からも概ね好評でした。しかし議会の中では、一部の市民しか参加していないという疑問の声もあり、次の開催が危ぶまれます。7/1に行われるシンポジウムや市民と議員との懇談会などではぜひ市民からの熱い意見をお寄せいただければと思います。

5/29の公聴会には、議員定数削減に賛成が1人、反対が3人の公述申込がありました。すべての申込者に発言を認めることとなり、ひとり15分以内の公述と議員からの質疑がありました。それぞれ良く練られた公述で、非常にレベルの高い公述会となりました。小金井ではなんと46年ぶりの開催。今後も大事な要件についてはぜひ公聴会を開催したいものです。



社会の動きに呼応しながら小金井市議会からも意見書を準備中

生活保護受給者に対するバッシングが広まっています。制度の正確な認識が必要です。また、原発事故被害者への救済法案が提案されようとしています。当事者の声をふまえ、被ばく被害への救済がしっかりと整備された法案にする必要があります。(仮題)「生活保護制度に関する冷静な報道と議論を求める意見書」「原発事故の被災者の生活支援に関する法案の充実を求める意見書」の提案準備中。



片山かおるプロフィール

1966年生れ。1期目、総務企画委員、ごみ処理施設建設等調査特別委員、青少年問題協議会委員、小金井市土地開発公社評議員会評議員、議会報編集委員。市民自治こがね共同代表、片山かおるといっしょにかえる小金井の会、放射能問題に取り組む親たちと共に活動中。市民自治をめざす三多摩議員ネット、自治体議員政策情報センター、みどりの未来、福島原発震災情報センター、全国フェミニスト議員連盟、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワークなどにも参加。

◇片山かおる 連絡先◇

小金井市中町3-10-10-103 TEL&FAX:042-316-1511
http://katayamakaoru.net/ office@katayamakaoru.net
ツイッター: http://twitter.com/#!/katayamakaoru
フェイスブック: http://www.facebook.com/kaoru.katayama.7

●ご意見、ご感想をお寄せください。 ●古紙 100%再生紙使用